

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月13日

上場会社名 AI CROSS株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4476 URL <https://aicross.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 典子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 菅野 智也 TEL 050-1745-3021
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年12月期第3四半期の業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,361	34.7	108	△36.2	107	△32.5	74	△30.5
2019年12月期第3四半期	1,010	—	169	—	159	—	106	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	19.03	18.23
2019年12月期第3四半期	31.88	—

- （注）
1. 当社は、2018年12月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2019年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
 3. 2019年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場株式であったため、期中平均株価を把握できませんので記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,371	1,087	79.2
2019年12月期	1,267	1,007	79.4

（参考）自己資本 2020年12月期第3四半期 1,085百万円 2019年12月期 1,006百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	31.0	200	5.0	197	16.4	134	8.7	34.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	3,950,000株	2019年12月期	3,942,900株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	50,080株	2019年12月期	50,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	3,896,518株	2019年12月期3Q	3,350,000株

（注）当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い経済活動の停滞や縮小により急激に悪化しております。感染症再拡大の懸念もあり、終息の見通しが立たないことから、景気の先行きについては不透明な状況が続くことが予想されております。

一方で、新型コロナウイルスを起因に新しい働き方に対応するデジタルシフトが加速するとともに、デジタルトランスフォーメーション等への注目度は高まっており、そのセキュリティの重要性も高まっております。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、日本における2020年6月末時点の移動系通信の契約数は、1億8,846万回線(前年同期比3.5%増)と増加が続いております(出所:総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表(2020年度第1四半期(6月末))」)。また、当社がターゲットとする働き方改革ICT市場におきましては、時間と場所に柔軟性を持たせた働き方の促進が急速に求められており、テクノロジーを積極的に活用した生産性の向上、ワークライフバランスの向上といった取り組みにより、今後益々の市場の拡大が期待されております。

このような事業環境のもと、当社は、「Smart Work, Smart Life〜テクノロジーでビジネススタイルをスマートに」をミッションとして、メッセージングサービス「絶対リーチ!SMS」及びビジネスチャットサービス「InCircle」を通じたビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業を展開し、AI Analyticsサービスにおいては、新規事業としてAIデータ分析を人事領域に組み合わせ、人的資源の有効活用実現に向けてSmart AI Engagementを推進してまいりました。

また、メッセージングサービスのサービス名称を「AIX Message SMS」から「絶対リーチ!SMS」へとブランド統合し、セキュアで圧倒的に到達率の高いSMS配信サービスをブランディングし、情報過多の社会において価値ある情報を埋もれることなく顧客へリーチすべく課題解決に取り組んでまいりました。当第3四半期では、ブランディング施策としてメッセージングサービスのWebサイトを刷新する広告投資を実施してまいりました。

AI Analyticsサービスでは適性検査情報や勤怠情報などの人事情報を集約し、AIによる多面的な分析で新たなエンゲージメントの創出を目指すSmart AI Engagement領域への事業を加速させ、最適な組織づくりを実現する「絶対リーチ!HR」のサービス提供を開始いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,361,471千円(前年同四半期比34.7%増)、営業利益108,038千円(同36.2%減)、経常利益107,427千円(同32.5%減)、四半期純利益74,165千円(同30.5%減)となりました。

なお、当社はビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は1,371,251千円となり、前会計年度末に比べ103,586千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加152,646千円、オフィス移転に伴う設備投資による有形固定資産の増加21,715千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は283,526千円となり、前会計年度末に比べ22,982千円増加いたしました。これは主に未払法人税等の減少33,731千円、オフィス移転に伴う設備資金の調達に伴う長期借入金の増加41,472千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,087,724千円となり、前会計年度末に比べ80,604千円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加74,165千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想については、2020年2月14日の「2019年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。新型コロナウイルス感染拡大による当会計年度の業績への影響は認識しておりますが、現時点では軽微と判断しております。新型コロナウイルス感染症の更なる拡大を考慮し、業績への影響については引き続き注視してまいります。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	835,133	987,780
売掛金	232,910	207,424
前払費用	38,089	30,281
その他	500	358
貸倒引当金	△1,814	△751
流動資産合計	1,104,819	1,225,093
固定資産		
有形固定資産	1,518	23,233
無形固定資産	91,554	58,146
投資その他の資産	69,772	64,777
固定資産合計	162,845	146,157
資産合計	1,267,664	1,371,251
負債の部		
流動負債		
買掛金	113,784	131,331
1年内返済予定の長期借入金	—	18,396
未払金	55,139	25,473
未払費用	6,665	3,406
未払法人税等	46,330	12,598
前受金	17,097	18,750
預り金	3,294	24,218
その他	18,231	7,878
流動負債合計	260,544	242,054
固定負債		
長期借入金	—	41,472
固定負債合計	—	41,472
負債合計	260,544	283,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	448,924	451,396
資本剰余金	424,924	427,396
利益剰余金	133,396	207,562
自己株式	△500	△640
株主資本合計	1,006,745	1,085,714
新株予約権	374	2,010
純資産合計	1,007,120	1,087,724
負債純資産合計	1,267,664	1,371,251

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,010,697	1,361,471
売上原価	590,905	834,155
売上総利益	419,791	527,316
販売費及び一般管理費	250,519	419,278
営業利益	169,272	108,038
営業外収益		
受取利息	2	7
その他	23	0
営業外収益合計	25	8
営業外費用		
支払利息	783	110
為替差損	1,005	509
株式公開費用	8,387	—
営業外費用合計	10,176	620
経常利益	159,121	107,427
税引前四半期純利益	159,121	107,427
法人税、住民税及び事業税	46,820	30,431
法人税等調整額	5,516	2,829
法人税等合計	52,337	33,261
四半期純利益	106,784	74,165

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ビジネスコミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。